

## 新型コロナワクチン 中野区の接種時期が決定

# 4月28日から75歳以上 65歳以上も5月中旬にスタート

希望する区民全員が無料で受けられる新型コロナウイルスワクチンについて、中野区はこのほど、接種時期などの詳細を発表しました。ワクチンの供給状況を踏まえ、見直された実施計画のポイントをご紹介します。

掲載内容は3月26日時点の情報です。今後見直される場合があります。中野区のホームページで順次、情報が更新されます▶▶▶▶



## 接種回数は2回 接種開始は年代で異なり、接種会場は3種類あります

まず中野区医師会館(集団接種)で4月28日からスタート。順次、医療機関(個別接種)、区民活動センター(集団接種)でも接種が開始されます。1回目と2回目の会場の変更も可能です。集団接種が終了しても、個別接種は継続実施されます。



年代	接種券の 発送開始	接種開始	接種会場
<b>75歳以上の方</b> 1947年4月1日以前の生まれ	4月15日	4月28日	<b>①中野区医師会館</b> (中野2-27-17) <b>▶ 集団接種</b> 4月28日～9月下旬(水・木・日)
<b>65歳以上の方</b> 1957年4月1日以前の生まれ ※75歳以上を除く	5月中旬		<b>②医療機関(146カ所)</b> <b>◀ 個別接種</b> 5月中旬～継続実施(各機関の定める診療日・時間)
<b>65歳未満の方</b> ※基礎疾患のある方や高齢者施設の従事者を優先 ※16歳未満は対象外	6月中旬	6月下旬	<b>③区民活動センター(15カ所、1日3カ所ずつ巡回)</b> 6月上旬～9月下旬(毎日<休館日等除く>) <b>◀ 集団接種</b>

▲中野区医師会館で行われたワクチン接種の  
予行演習(3月14日)

## インターネットか 電話で予約します



詳しくは、接種券などと一緒に中野区から届く「案内」をご覧ください。**医療機関(146カ所)の一覧も同封されています。**高齢者施設などの入所者・従事者に対しては、かかりつけ医らが訪問し接種します。

接種会場	予約方法	
中野区医師会館	コールセンターに 電話するか インターネットを 通じて専用サイトで 予約する	
区民活動センター (1日3カ所ずつ巡回)		
医療機関 (146カ所)	大規模接種 医療機関 (8カ所)	各医療機関へ 直接連絡し予約する
	それ以外 (138カ所)	

- ワクチン(米ファイザー社製)の接種間隔(2回目)は、3週間空ける必要があります
- 持病があつて薬を飲んでる人は、接種について、かかりつけ医にご相談ください
- 集団接種の場合、来場から接種完了までの所要時間は約20分から40分程度です
- 接種会場では、万が一の副反応に備えて救急体制を整備しています



少しでも不安があれば、かかりつけ医やコールセンターにご相談ください

中野区新型コロナウイルス  
ワクチン接種コールセンター

ナビダイヤル: **0570-03-5444** 毎日午前9時～午後7時

# 新型コロナ 対策に全力 公明党中野総支部

公明党中野総支部長の高倉良生(東京都議会議員)は、区議会公明党と連携してコロナ対策に全力を挙げています。都議会でも党政務調査会長として、小池都知事への40回300項目を超える緊急要望を取りまとめ、次々と政策を実現してきました。これからも区民の皆さまの暮らしを守るため、誰よりも働いてまいります。

## 女性の負担軽減へ生理用品配布

経済的な事情で生理用品を購入できない環境にある女性の「生理の貧困」が社会問題になっています。高倉良生と区議会公明党は3月15日、酒井直人区長に対し、防災備蓄品の生理用品を必要な人に配布することなどを要望。酒井区長は、防災備蓄品の生理用品の活用を明言し、3月29日から配布が開始されました。公明党の強い主張により、国レベルでも予備費を活用した対策が実現することになりました。



▲酒井区長に要望する高倉(中央右)と区議会公明党

■ 配布数:550セット ■ 期間:配布予定数終了まで ■ 会場:区役所3階子ども総合相談窓口など

詳細は区のホームページやツイッターなどで確認できます

## あらゆる世代の声をカタチに

### 出産家庭に10万円分の 育児用品などを提供



今年1月から2023年3月下旬までに子どもが生まれた家庭を対象に、1人当たり10万円分の育児サービスや、おむつなどの育児用品が提供されます。都議会公明党は都に対し、都内の出産費用が全国平均より高いことから独自の支援を要望。対象が今年4月以降から、今年1月以降にまで広がりました。

### 子ども 1人に5万円 低所得の子育て世帯へ給付

政府は3月16日、低所得の子育て世帯に対し、子ども1人当たり5万円の給付金の支給を決定。公明党の提言が実現したものです。同給付金は今回で3度目。対象が児童扶養手当を受給しているひとり親世帯に加え、住民税非課税のふたり親世帯にまで拡大しました。

### 医療従事者の手当 1日5000円に増額



都は、コロナ患者の診療に携わる医療従事者への特殊勤務手当を、従来の1日当たり3000円から同5000円に増額しました。支給期間は今年1月8日から6月まで。同手当は、都議会公明党が導入をリードし、昨年1月下旬の勤務分から支給が開始。支給期間の延長に加え、増額も実現しました。

### 「身を切る改革」を断行！ 5年連続で議員報酬20%カット

2017年、都議会公明党の提案で「議員報酬の20%削減」や「政務活動費の月額10万円減額」などを盛り込んだ条例が可決しました。同条例は1年間の特例でしたが、公明党の強い主張によって延長が重ねられ、削減された経費は4年間で約27億円に。今回再び延長を提案し、5年連続の削減が決定しました。

## 飲食店などへの支援を拡大 助成金・給付金等についてはこちら



東京都議会議員 党中野総支部長 **高倉 良生**

新型コロナ対策などをまとめた公式動画チャンネルが充実しています▶

